

交差点立体化により渋滞解消と歩行者の安全性が向上

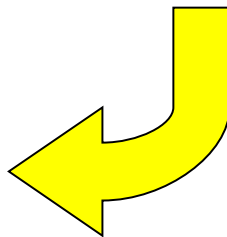
— 国道294号乙子交差点立体化 —

おとご

対策後



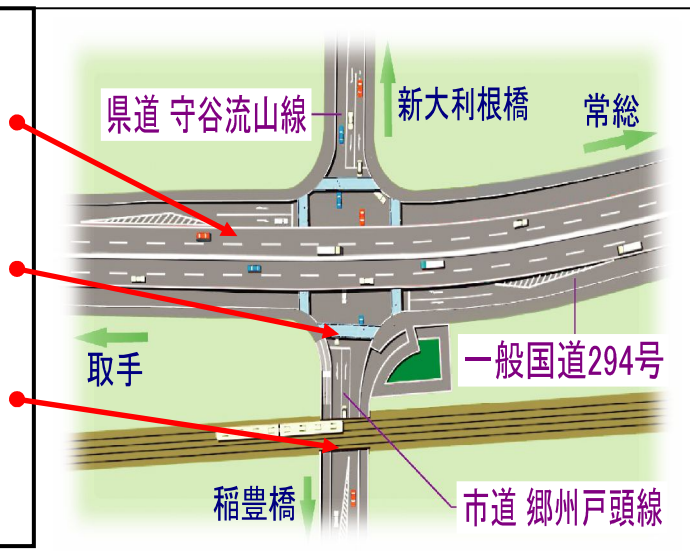
対策前



- 国道294号乙子交差点は、交通量が非常に多い上、関東鉄道常総線の踏切が近接していることから、慢性的な交通渋滞が発生していました。
- そこで、国道294号の4車線拡幅にあわせ、踏切の立体化とともに、「車」と「人」を完全分離した3層構造の立体交差の整備を行いました。
- 整備前と整備後と比較すると、各方向で発生していた渋滞(最大640m)が解消されるとともに、交差点を渡る歩行者・自転車(約1,850人/日)の安全性を確保することができました。
- また、渋滞緩和により年間約200t相当のCO₂排出量が削減(スギ約14,300本に相当)されました。

○対策

- ・ 国道294号4車線化及び立体化
- ・ 自転車歩行者専用の橋梁・スロープを整備
- ・ 関東鉄道常総線の踏切立体化



一般国道294号 乙子交差点立体化事業

- ・ 事業期間: 平成16~20年度
- ・ 総工事費: 約50億円